

農業大学校だより

vol.3

発行／長野県農業大学校・長野県農業大学校総合農学科後援会

長野市松代町大室3700



プロジェクト学習中間検討開催

去る七月三日小諸キャンパスにおいて、プロジェクト中間検討会が行われました。当日は梅雨の晴れ間の中、実際に学生が農場で管理している作物を見ながら個別課題に検討を行いました。

この検討会は学生が取り組んでいるプロジェクト学習の過程で実際に直面した問題点を検討し、成果発表に向けて一助とするものであり、今年は五四課題について検討しました。例年に比べプロジェクト課題が黄金シャモやパプリカ、ワレモコウなど今まで取り上げられなかった課題も選定されており学生や職員はそれぞれの発表に興味深く聞き入っていました。学生にとってこの検討会は十二月の成績発表に向けて大変有意義な一日となり、これを機会に作物や家畜の管理にも一層力が入っています。



農業大学校長
松尾悦雄

農業大学校は今

秋風と共に夜長を鳴きとおす虫の声も日増しに賑やかになって参りました。

高校生のあとけなさが残る面立ちに緊張感を漂わせながら桜の花が咲き乱れる松代キャンパスに入学してきた学生は、なれない農場実習に戸惑う人、友達と相部屋の寮生活に不安そうな人、高校を卒業して半分社会人になった気分の人など様々でしたが、ようやく落ち着き農業大学校生活に目標を見出して学業に励むようになりすつかりたくましくなりました。

小諸キャンパスの2年生は就農する者は営農の方向が定まり、進学するものは志望校が決まり、就職するものは内定をいただくなど卒業後の生活がイメージでき行き先が見えてきました。学生の生活指導、農場運営、担当授業などで多忙な先生たちも、春はボヤキの虫が鳴いていましたが、実りの秋を迎えてナットクの虫が鳴き始めているのかな。

作物コース



コース長 岡田 雅雄

作物コースというと農作物全般の栽培をイメージすると思いますが私達は水稲・麦・大豆・そばといった食用作物を専攻し、大きく水田と畑作の2つに分かれてプロジェクト学習をしています。水稲ではコシヒカリやオラガモチを主力品種に減農薬など環境にやさしい栽培法や直播きによる省力栽培の検証などを行っており、御牧ヶ原の強粘土水田で美味しい米が実りました。畑作ではそばと黒大豆のプロジェクトを中心に麦・大豆・きびなどを栽培し、7月の豪雨・長雨には泣かされましたが、豊かな実りに感激しています。

畜産コース



コース長 小林 理沙

本年度の畜産コースは全員女性の5名です。それぞれ自分のプロジェクトで飼育している家畜の朝夕の管理を行っています。家畜は私たちの愛情に敏感に反応してくれるので、やりがいのある仕事です。プロジェクトの内容は肉用牛の育成技術の検討、肉豚のりんご粕の給与試験及び放牧効果、採卵鶏の採卵調査、肉用鶏の品種間肥育試験です。これからの農業を担う女性パワー5名皆で協力し、先生方に指導助言を頂きながら楽しく賑やかに元気にやっています。

野菜コース



コース長 南澤 卓実

私達野菜コースは様々な野菜を栽培しています。毎日の作業は主に除草・防除等管理の仕事がたくさんあります。栽培に欠かせない水くれば当番を決めて朝と夕方に行っており、そのおかげで野菜は毎日元気に育っています。プロジェクト実習では個々に取り組んでい野菜の管理と共に生育調査を行っており、しっかりとれたデータ収集が使命です。プロジェクトは大変ですが、長野県農業の主力を担う野菜を学ぶ仲間は先生も学生も愉快で面白い人が多く実習も楽しくやっています野菜コースです。

花きコース



コース長 山口 真揮

花きコースの学生は独特の個性を持っていて、それぞれのペースで作業をしています。皆んなの心に共通していることは「花が大好き」ということです。毎日の実習も花を前にすると心ひとつにがんばります。主な作業内容は農大祭で販売する鉢物を育てること、トルコギキョウ・キクなどの切花を花束にして販売しています。花束づくりは花色を考えたり、ポリウムを考えるのは難しいことですが皆でアイデアを出し合っよりよいものを作っています。花作りは楽しいですよ。



クラブ活動

今年度は学生活動の活性化を図るため、学生の趣味や特技を活かしたクラブ活動の強化を学生部と自治会文化部で進めました。

五月には野球・バレーボール・卓球・バトミントン・登山・釣り・茶道など十一のクラブが発足し放課後や土日に活動しています。

スポーツ関係クラブは全学体育大会や地域の大会への参加を目標に練習に励み、登山釣りなどは土日に近隣の山々に行ったり、海釣りに挑戦するなど教授陣との交流を図りながら活発に活動しています。

文化部長 古田 幸広



果樹コース

果樹コースはりんご4名、ブドウ3名、ナシ2名、もも4名、プルーン1名の総勢14名が伊藤・桜井教授のもと果樹の勉学に励んでいます。収穫の秋を迎えナシやりんごの収穫作業が増え、各自のプロジェクト学習もいよいよ最終段階になってまいりました。

農大で専攻している学生が最も多いコースですが、それぞれが専攻している分野をしっかりと管理し、一致団結メリハリのある作業をすすめたおかげで今年の果樹は順調に生育しています。我々が丹精こめた農大の果物自信を持ってお勧めします。

ぜひお召し上がりください。

コース長 中沢 聡志



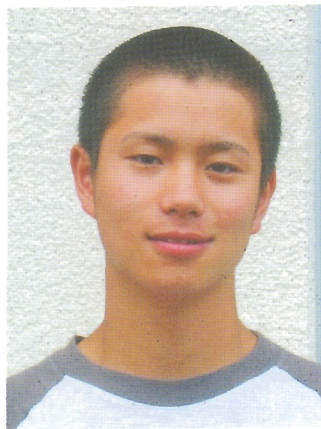
自啓寮自治会の活動

農業大学校自啓寮に入寮して半年、高校時代と違った自治会活動に慣れないながら活動しています。

今年度は毎週定例で執行部が集まり、寮生活の状況や課題解決を話し合ってきました。また、先生と学生の親睦を目的として焼肉会を開催し普段できない交流を図ることができました。

各地から集まった寮生が快適で楽しい寮生活が送れるよう、これからもイベントの企画や寮の改善など、専門部や教授陣と協力してよりよい寮生活をめざしたいと思います。

一学年自治会長 藤牧 隆太



清風寮自治会の活動

私たちが小諸の地にきて半年が経ちました。最近キャンパスを通り抜ける風もこの地にきた四月を思わせる気候になりました。私が自治会長になってから様々な活動を展開してまいりました。

自治会は七つの専門部に分かれ環境整備やクラブ運営など寮生活を向上するための活動や、歓迎交流会・体育デー・全学体育大会など一学年や他学科との交流を行いました。

十一月には農業大学校最大のイベントである農大祭があります。我々農大生総力をあげて最高のものにしたと実行委員会を中心に準備を重ねています。

自治会長 塩川 央宙

九州産地視察で感じたこと

旅行委員長

丸山 初美



一学年は七月十一日～十五日の五日間九州方面へ産地視察に行きました。

高校と違い、遠く離れた農業産地を直接に見るだけに、どんな農業が展開しているか、九州の雄大な自然と共に事前学習の時から期待感が高まりました。

私は果樹の専攻を希望しているので、福岡のブドウ栽培に興味があり

ましたがブドウは棚仕立てがしてなく枝が直接垂れていて驚きました。長野県と違い気候が暖かく、枝の伸びが速いため

この栽培が冬の剪定も管理もしやすいとの説明でした。気候に応じて栽培技術も工夫されていることを直に感じました。

九州各地の農業と自然を学び、標高が高く内陸型の長野県との違いに触れた五日間でした。

全国農業大学校交換大会に参加して

一学年 武田 清和



七月一九日から三日間第三七回交換大会が高知県を会場に開催され、当農大から四名が参加しました。全国から二七〇名が集う大会で、正直、他の農大生とうまく交流ができるか不安でしたが、初日から青森農大生が話しかけてくれ、二日に交流を深めることができました。

二日目は四班に分かれウォークラリーを行い、私は桂浜コースで坂本龍馬の事跡を訪ねました。幕末の英傑坂本龍馬につい

てしっかり学ぶと共に桂浜のきれいな海に感動しました。片桐君は功名ヶ辻の舞台高知城コース、伊原君は土佐和紙・鯉たたき体験コース、小須田教授は牧野富太郎植物園コースを其々巡りました。最終日は全体報告会で伊原君が代表発表を行い閉幕しました。この大会では全国の農業を目指す仲間と交流を深め再会を誓う友人もでき、大きな感動を頂いたこと関係者に感謝いたします。

19年度長野県農業大学校「総合農学科」学生募集!!

■人員:60人 ■対象:高校卒等 ■修学年限:2年

■専攻コース

作物・畜産・野菜・果樹・花き・農村生活の中から入学後の授業や実習等を通じて専攻コースを決定していただきます。

■資格・特典

- 在学中に次の資格・免許の取得のための学習等を行います。
毒劇物取扱者、大型特殊免許(農耕車)、車両系建設機械運転技能、フォークリフト運転技能、小型移動式クレーン運転技能、玉掛け技能、産業用無人ヘリオペレーター技能、家畜人工授精師他
- 卒業者は、人事院規則等に基づき、短大卒業と同等に扱われ、また専門士の称号が付与されます。

■推薦入試

願書受付 平成18年**10月16日**(月)～**10月27日**(金)
入学試験日 平成18年**11月22日**(水)

■一般入試

願書受付 平成18年**12月22日**(金)～平成19年**1月12日**(金)
入学試験日 平成19年**1月22日**(月)

■問い合わせ先

長野県農業大学校事務局 TEL.026-278-5211(代)

